

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年3月 25日

【評価実施概要】

事業所番号	3473300675
法人名	有限会社畠中商事
事業所名	グループホームあおば
所在地	広島県廿日市市福面二丁目8-6 (電話)0829-56-5775
評価機関名	医療福祉近代化プロジェクト
所在地	広島市安佐北区口田南4-46-9
訪問調査日	平成21年3月18日

【情報提供票より】(21年2月23日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	昭和・平成 15 年 9 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	10 人	常勤 5 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	人

(2)建物概要

建物構造	木造スレート 2階建て, 1階 ~ 2階部分
------	------------------------

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	400.00 ~ 600.00 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有()	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	300,000円 無	有りの場合 償却の有無	(有) / 無	
食材料費	朝食	350 円	昼食	450 円
	夕食	550 円	おやつ	150 円
	または1日当たり 円			

(4)利用者の概要(3月18日現在)

利用者人数	9 名	男性	2 名	女性	7 名
要介護1	4 名	要介護2	4 名		
要介護3	1 名	要介護4			
要介護5		要支援2			
年齢	平均 85 歳	最低 77 歳	最高	91 歳	

(5)協力医療機関

協力医療機関名	廿日市野村病院、村上歯科医院
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

閑静な団地の中に社員寮を改築された二階建てのホームで家庭的な環境の中で認知症の方がゆったりと安心した生活が過ごせるよう、ゆっくり、いっしょに、たのしく暮らせる場を求め、今までと変わらない我が家のような生活を入居者と職員はあたたかいふれあう姿で過ごされている。開設以来地域の方との交流があり理解もされ近所の方のあたたかい思いやりは地域に開かれたホームといえる。これからも職員の熱意による質の高いケアが提供されると期待します。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	入居者の認知の進行を緩和し、今の状態が低下しないで維持できるよう、見守りながら接する理念を確認し、実践に向け全職員で共有されている。二階の廊下を一階事務所のモニターで見られるようにして支援されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	評価は全員で取り組み評価を通して話し合い見直す機会にもなり、ケアに活かされている
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域の方、市の職員、ホームの職員の参加があり、ホームからの報告や出席者からの意見を聞き、地域との連携を強くされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	面会に来られた時、家族からの要望を聞き、受け止められ個々の対応がされている
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
重点項目	開設当初から町内会に入り近隣の理解があり、近所の方が立ち寄ってもらえるような地域に根ざしたホームである。ボランティアのハーモニカ演奏、手品などの協力、地域のSOSネットワークに登録され地域機関と協力し、支援もされている。

2. 調査報告書

(部分は重点項目です)

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
		地域密着型サービスとしての理念			
1	1	地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	あおばで目指す理念を全員で共有し(ゆっくり、いっしょに、たのしく)実行されている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	全員ミーティングで話し合い理念に向け実行されている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町内会に入り、地域の方の理解もあり、近所の方から季節の花、野菜、果物など持って来られ、近隣との交流もされている		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義を理解し、日々の取組みの中で確かめ合い、それが活かされるようにされている。		
5	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月毎に開催され地域の方、市役所の職員、グループホームの職員の参加があり、ホームの状況や取組みが報告されて地域の方に理解や協力を得られている。		

グループホームあおば

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所との連絡はされており、市の研修に参加し、いろいろな情報や意見を聞き運営に活かされている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	入居者の状況は家族に伝えられており、変化があれば報告される。面会時には話し合いをし、その都度報告される。あおば便りは定期的に送られている。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族から苦情や、要望を聞けるように面会の際、家族と話し合い、その意見は受け止め改善につながっている。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動は無く、職員と入居者は馴染みの関係でふれあいがあった。		職員の異動や退職者がいないことは働きやすい職場といえる。人材の定着が入居者と職員の馴染みの関係でふれあう姿になっている。
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修は出来るだけ受講し、研修報告を全員が共有するようにされている。		
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市で行われるグループホーム交流会に参加され、意見交換、情報交換をされ、見学会にも参加され同業者との勉強会がサービスを反省する機会になり、質の向上になっている。		

グループホームあおば

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居体験をされ家族、入居者と話し合い、コミュニケーションを大切に職員は入居者の話を聞き安心して、おだやかに過ごせるよう、雰囲気づくりに努められている</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>玄関を入ると、その日の職員の写真と名前、勤務時間が入居者によくわかるように張り出されている。入居者、職員は同じ立場で生活し、家事や食事作りなど支えあう気持ちで日々の生活に努められている。</p>		
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の会話の中で思いを感じとり、聞き取れない方は動きや身振りなどで一人ひとりのコミュニケーションをつかみ希望を聞くようにされている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者、家族と話し合い全員ミーティングで意見を出し合い介護計画の見直しがされる</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>変化があれば、現状に即した対応がされている。</p>		

グループホームあおば

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	認知症の人とその家族の会に入って、地域の在宅支援者との交流がある。入居者、家族の思いをしっかりと受け止め、認知症の方が家庭的な穏やかな生活が送れる柔軟な支援がされている		多様なレクリエーションの支援は柔軟に対応できていると思われ、今後ニーズや状況に合わせて支援されることを期待します。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居者、家族の希望を聞き専門医など医療支援がされている。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族、医師と相談し全員が納得のいく方針が共有されている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は常にやさしい言葉で接する態度がみられた。プライバシーに配慮されていた。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ゆっくりとした一日の流れの中で、入居者の希望に添えるよう一人ひとりの過ごし方を大切に支援されている。		

グループホームあおば

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	毎日買い物に行き、できるだけ入居者と一緒に調理や、盛り付けをし、みんなで関わりながら食事作りをされていた。旬の果物、野菜を使った献立で作られていた。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日は決められているが、その日の気分や体調に合わせた支援がされている。入られない日には入浴剤を入れて足浴をされている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	畑にはじゃがいもが植えられ芽が出るのを楽しみされている。折り紙に思いを寄せて一生懸命に折られる方、きり絵の作品、生け花と楽しみ事(音楽、カラオケ、めだか飼育)が日々の中で支援されている		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その方に合わせ散歩、買い物、イベントに参加、外食に出かけるなど支援がされている。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室、玄関には鍵はかけられていない。玄関にセンサー(チャイムの音は小さくしてある)があり出入りがわかる。二階にはモニターが設置されている。一人ひとりの状況を把握して対応されており見守りの支援が鍵をかけない取組みとなっている。		一人ひとり状態を日々把握し見守りがしっかりされているケアが鍵をかけない落ち着いた環境と感じました。
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	普段から地域の方の協力が得られるよう働きかけられ、災害時に公園に避難する、地域の方に消火器、はしご、長椅子などいつでも使えるよう町内会に登録もされている。		スプリンクラー設置の準備がされている。

グループホームあおば

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人ひとりの好みに合わせ飲み物や食事が取れるよう支援され、食事、水分摂取量は記録に記してありました。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは家庭的な雰囲気でき、庭の菜園を見て季節を感じることができ、思い思い一人ひとりの居場所で過ごされている。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅から持ち込まれた物品が置かれ、家庭的な雰囲気の配慮がみられた。		